

全国農地土壌炭素調査を開始

農業生産分野においても地球温暖化防止に貢献するため、土壌の持つ炭素貯留機能を評価する全国調査が今年度から開始されました。京都府においても、府内を代表する40点の農地での土壌採取と有機物施用に関するアンケート調査を、12月から1月にかけて普及センターと共同で実施しました。この調査は5年間継続し、土壌炭素含有量とアンケート調査の結果を分析して、農地に炭素を積極的に貯留する効果的な管理手法を開発することとしています。



水田における土壌採取